

永山公民館・市民企画講座

多摩市の社会教育施設のあり方を 考える市民と市議会議員との対話集会

公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等々——私たちの暮らしを楽しく、豊かにしてくれる公共施設のあり方を みんなで考えていきましょう。

2017年

*日時：10月21日（土）P.M6：30～9：00（開場P.M6：15）

*会場：永山公民館ホール（ベルブ永山 5階）

*申込不要 参加費：300円（資料代など）

子どもから高齢者まで、すべての世代の学習・文化・スポーツ活動を支えてくれるのが「社会教育施設」です。

花咲く対話

市民はそれぞれの施設の職員の協力を得ながら、それらを活用し、そのあり方を決めていくことができます。

市には市民の意見、合意を踏まえて施設を設置・運営していく責任が課せられています。

市民と市議会議員の皆さん一緒に社会教育施設のあり方を、多摩市政全体の中に位置づけて意見交換、対話し、考えあっていきます。



主催：多摩市立永山公民館（☎337-6661）

企画・共催：多摩市の社会教育を考える会

代表 荒井容子

会員 大橋慶一（豊ヶ丘複合館存続の会 所属） 齊藤 仁（東寺方複合館の存続を考える会 所属）

辻山妙子（聖ヶ丘図書館の存続を考える会 所属） 中江智明（唐木田図書館の存続を考える会 所属）

青木洋子（多摩市に中央図書館をつくる会 所属）ほか多数

集会の問合せ：e-mail： yarai@hosei.ac.jp（荒井容子） ☎373-8258（安室君子）

この集会はどなたでも参加できます！

= プログラム =

第1部 多摩市の社会教育施設のあり方

「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」とその更新に至る3年間をふりかえる

- 1 社会教育施設のあり方をめぐる近年の諸問題と検討課題（論点）
ー第1次アンケートに対する市議会議員の方々からの回答もふまえてー
(多摩市の社会教育を考える会)
- 2 経過報告と市民として感じたこと、考えたこと、分かってきたこと。
(この問題で運動してきた市民から)

第2部 グループに分かれて自由討論 その後の全体討論

第2次アンケートへの議員のみなさんの回答（問題提起）を踏まえて、自由討議
まとめ

= 集会の趣旨 =

集会の準備にあたって、全市議会議員の皆さんに2次にわたってアンケートを行いました。

第1部では、多摩市の社会教育施設のあり方について考えるために、「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」が2013年に提示され、市民が改めて社会教育施設のあり方を考え、また、計画策定過程、提案内容に大きな疑問をもって変更を求める運動を展開してきた過程を振り返っておくこととします。この間、議会でも多く議論されてきました。集会準備のため市議会議員のみなさんに行った第1次アンケートにおいて、社会教育施設の価値を認めつつ、財政問題等と関わらせて、そのあり方、位置づけについて幅のある意見をいただきました。それらも踏まえていきます。

そのうえで、第2部では、多様な知見に学びつつ、市民の率直な気持ち、考え、意見を交わらせて議論を進めるために、小グループでの討議を行い、その結果を全体で交流します。市民間でも、また市議のみなさんと市民との間でも、多摩市の今後の社会教育施設について、具体的に、率直に意見交換し、みんなで課題を深くとらえ、かつ、よい方向、方策を探っていければと考えています。

「多摩市の社会教育を考える会」は、多摩市の社会教育各分野で活動している市民が、多摩市のよりよい社会教育をめざして学び合い、市政、世論に積極的に働きかけていく会です。「多摩市の社会教育について考える相談会」（2014年12月23日豊ヶ丘集会所にて開催）で発足しました。これまで47回（2017年10月3日）の会合を重ねてきました。

問い合わせ先 荒井容子 (yarai@hosei.ac.jp) 安室君子 (tel/fax 042-373-8258)

ホームページ <http://www.t.hosei.ac.jp/~yarai/tamashakou/tamashakou.html>